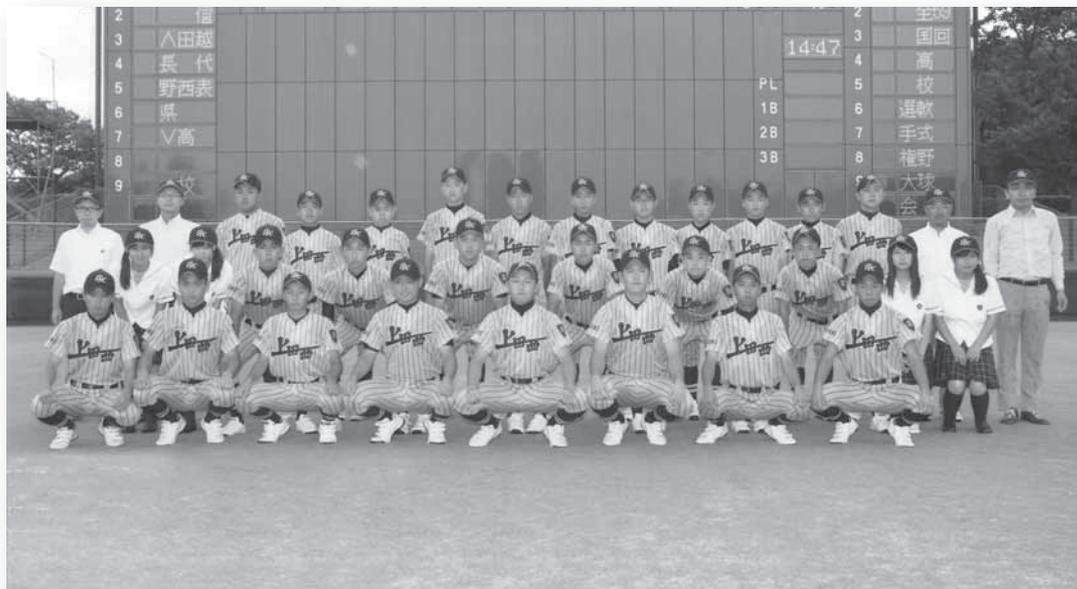


上田西高の教育



第59回 全国高校軟式野球選手権大会

平成26年8月25日 会場：明石トーカ口球場・高砂市球場

第 59 号 2015.3.7発行

あと一步の高みを目指して.....	桜井達雄	2
西高生の活躍.....	桜井達雄	4
軟式野球部との3年間.....	矢澤龍一	9
二学年台湾修学旅行.....	和田弘実	12
「政治経済」の授業における模擬選挙の試み.....	宮坂正議	14
土曜補習の実践報告.....	渡邊武志	18
「世界に誇る上田紬」発表への取り組み.....	山口裕恵	21
進路決定状況.....	進路指導係	24

上田西高等学校

百聞は一見に如かず

理事長 水野一成

上田西高校の特色ある取り組みの一つに、国際交流教育がある。「世界は広い、しかし狭い。そして益々近くなるのだから、もっともっと学ばなければならぬ」島国の子ども達がこのことに気付くのは早い方がよい。海外からの優秀な大学生を支援したり、ネパールに小学校を創る活動をしているロータリークラブに熱心に関わっていた水野春海元理事長の信念で、一九九五太平洋戦争終結五〇年の節目の年に、西高は初めてシンガポールへの修学旅行を実施した。長野県内ではまだあまり海外修学旅行が行われていない頃だった。費用・日程などの点で課題はあるが、個人で計画するより遥かに安く、有意義な旅行ができる。

以来、毎年二年生全体で海外へ行き、詳細な事前学習、平和教育、現地の学校訪問、日本文化の紹介など、修学旅行ならではの貴重な体験をする。そして学校全体の意識の高まりとともに、クラブや学年単位でも外国の高校との交流が行われるようになった。

個人留学に関しては、更に遡って一九八八年、アメリカからのロータリー交換留学生の受け入れに始まり、二八年間で海外へ派遣した西高生は、短期・長期あわせて五二二名、受け入れた留学生は三二九名にも及ぶ（二〇一六年一月末現在）。語学習得のみならず、自立して考え行動しなければならぬ環境におかれ、どの生徒もひと回り大きく成長し、学習へのモチベーションを高めて帰ってくる。

主に英語圏の十四カ国（米・加・英・仏・葡・豪・新西蘭・韓・中・台・香・新嘉坡・馬・比）との交流実績は、まさに「西高の宝」と言っても過言ではない。

中でもオーストラリアのセントラル・コースト・グラマースクール（CC

GS）とは一九九五年に姉妹校として正式に提携し、二〇年間で築き上げた両校の深い信頼と友情は何物にも換え難い財産である。

年々世界は狭くなる一方で、国際紛争や異文化の対立が痛ましいテロ事件を引き起こしている昨今、安心して生徒達を送り出せる留学先に恵まれていることは誠に有り難い。その点はCCGSにとっても同様で、日本の治安の良さや穏やかな国民性に安心感と親近感を抱いてもらっている。

CCGSのウィリアム・ロー校長先生は、海外留学をするなら、アメリカやヨーロッパではなく、まず日本に行くようにと生徒に薦めるそうだ。

「欧米の生活や文化はオーストラリアとあまり変わらない。ところが日本へ行けばアジアの異文化を体験できる。同じアジアの一員として貴重な経験となるし、日本は他のどこよりも清潔で秩序がある。例えば東京駅。あれほど多くの人々が忙しく移動しても混乱なく、怒鳴り声ひとつ聞こえないのは賞賛に値する。CCGSの生徒達には、ぜひ日本で多くのことを学んでほしい。」

西高生には、CCGSで安心して学べるよう約束するので、オーストラリアで様々な体験をしてほしい」

と、二〇一四年四月西高を訪問された時に言っていた。

そして昨年六月、CCGS創立三十周年記念コンサートに招待して下さいだったので、希望者の中から選ばれた生徒六名と引率教諭、私ども夫婦の九名が渡豪することになった。

CCGSはシドニーから車で二時間ほどのゴスフォード市に隣接する郊外の私立学校である。全校生徒数一二四〇名（五才〜一八才）、教職員数一五〇名、敷地面積はなんと十七万㎡！本校は六万六千㎡で全国有数を誇っているが、その二・五倍以上、さすがオーストラリアは大きい。なだらかな丘の高低差を利用した校舎は平屋建て。緑の絨毯を敷き詰めたような広大なグラウンドの周囲には、林があり池がある。その広大な敷地内に創立三〇周年記念事業の一環として『パフォーミングアートセンター』というホールが建設され、竣工記念コンサートが開催されるのだ。

到着した日はCCGSの集会に参加し、スピーチさせていただく機会を得た。

いつも西高生を温かく迎えてくださる全ての皆さんに、学校を代表して深い感謝をお伝えした。日本の古い文化や二〇二〇年の東京オリンピックのことなどに触れ、日本に興味を持ってもらえるよう話したが、引率の山口先生に翻訳してもらいながらのスピーチは二倍の時間がかかってしまった。

前の方の幼い生徒には気の毒だったが、ロー校長先生は「マナーを学ぶ良い機会です」と全く意に介しない。生徒達に一〇歳以上の年齢差がありながら、大変落ち着いた雰囲気を保たれている。そういえば、美しい弦楽器の演奏で始まった集会には「起立！礼！」のようなマイクを通した号令はなかった。小さい生徒が演台で発表する時は、年長の生徒が踏み台をソツと置いて顔が見えるようにしてあげる。幼い生徒達も一生懸命立派に振る舞おうとしている姿が印象的だ。そして会の終わりに、会場が割れるほどの全員のコールがあり、それまでの静寂と緊張が一瞬で解放された。とびきりの大きな声を揃えて一言。私の英語力では何と言ったのか分からなかったのが残念だが、会場を出た生徒たちは明るく元気一杯、手を振りながら私達を追い越して行った。

二日目は、ゆっくり時間をかけて校内を見学させていただいた。洗練されたデザインや工夫があちこちで見つけられ楽しい時間であった。理科室の入り口に、アインシュタイン博士の顔と業績のパネル。その教室の名前は、アインシュタインルームだそうだ。教室ごとに偉大な科学者の名前をつけて顕彰している。

自然光を充分に取り入れた明るい図書室に入るとすぐ、階段横の白い壁の真っ赤なポスターが目飛び込んできた。大きめの正方形に、いくつかの英語が縦・横に白く染め抜かれている。中央にcreate、その周りに、READ, inquire, reason, question, ENJOY, share, inspire, connect, reflect, imagine, explore (大文字・小文字そのまま)。並べ替えれば文章になるのかもしれない。壁には他に貼り紙など一切ない。床に年齢層によって分けされた線が引いてあり、入口からその色を辿っていけば、お目当てを探すことができる。洗練されたメッセージとインフォメーションだ。

校内の空調やプロジェクター、コンピューターなど、設備はほとんどすべて日本製だ。学校スタッフには留学などで日本滞在経験者や「妻は日本人です」という人も少なくない。

日豪の距離は思っていたよりずっと近い。

その夜コンサートが行われるパフォーミングアートセンターの外壁は、遠くから見るとピアノの鍵盤を思わせる白と黒の縦長の線がリズムカルにデザインされている。客席数七六〇席ほどのホールの舞台裏には、スタジオルーム、アンサンブルルーム、レッスンルーム、レコーディングルームまで完備されている。それぞれの部屋のドアには資金提供者であろうか、proudly supported byと個人名が記されたパネルがはめ込まれていた。このように立派な学校や関連施設から成る教育環境を、三〇年で整えるのは魔法のようだと不思議でならなかったが、このproudly supportedの精神のおかげなのかもしれない。

記念コンサートは夜七時半から始まった。プログラムはどれもレベルが高く本格的。生徒と指導者の日頃の努力に感嘆するばかりだった。素晴らしいホールで才能あふれるパフォーマンズが次々と…その驚きと賞賛をとてここに書ききれない。西高から参加した六名の生徒達の年度末の報告と感想を楽しみにしている。

帰国後、メルボルン出身のオーストラリア人と、日豪の製造業について話した時間いた言葉が忘れられない。

「日本のビッグビジネスはトヨタかもしれないが、オーストラリアの一番大事な事業は目に見えないものだ。それは教育だ。」

百聞は一見に如かず。CCGS訪問前だったら、うっかり聞き流したかもしれない。CCGSに限らずオーストラリアの人々の教育に対する意識の高さを表す言葉と理解した。

CCGSでは、様々なアイデアで生徒の能力を最大限に引き出す努力を惜しまない。日本の教育はどうか？西高の実践は十分か？まだまだやるべきことが沢山あると痛感した初めての渡豪・CCGS敬表訪問であった。

西高生の活躍

校長 桜井達雄

〈硬式野球部〉

第130回北信越地区高等学校野球長野県大会 第3位
 第96回全国高等学校野球選手権長野県大会 ベスト8
 第131回北信越地区高等学校野球長野県大会 ベスト4

〈軟式野球部〉

第39回北信越地区高等学校軟式野球長野県大会 第3位
 第15回北信越地区高等学校軟式野球大会 優勝
 第59回全国高等学校軟式野球選手権長野大会 準優勝（決勝はせず北信越へ）
 第59回全国高等学校軟式野球選手権北信越大会 優勝（全国大会へ）
 第59回全国高等学校軟式野球選手権大会 初戦敗退（ベスト16）
 第61回長野県高等学校軟式野球秋季大会 第3位
 第9回北信越地区高等学校軟式野球秋季親善試合 初戦敗退

〈サッカー部〉

第59回長野県高校総体サッカー競技 東信大会準優勝 県大会出場
 長野県ユースリーグ1部 第4位（8チーム）
 3部グループA 第6位（12チーム） 第2位（12チーム）
 第93回全国高校サッカー選手権大会 準優勝
 第59回長野県高校新人大会 東信大会準優勝 県大会出場

〈レスリング部〉

全日本ジュニアレスリング選手権大会 カadet 2位 小島裕紀
 第50回北信越高等学校レスリング競技大会 1位 井出光星
 55kg級 1位 齊藤朱里
 49kg級 2位 宮原将
 60kg級 2位 宮原将

平成26年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会

平成26年度全国高等学校選抜レスリング北信越大会

55kg級ベスト8 井出光星
 60kg級 1位 小島裕紀
 84kg級 3位 赤羽薫

〈陸上部〉

第59回長野県高等学校陸上競技対抗選手権大会
 100mH 4位・400mH 8位 田中祐里（1年） 北信越大会出場
 第53回北信越高等学校総合体育大会陸上競技大会
 100mH 予選敗退 田中祐里（1年）
 第43回長野県高等学校陸上競技対抗選手権大会
 1500m 6位・5000m 3位 児玉天晴（1年） 北信越大会出場
 3000mSC 6位 西村涼太（1年） 北信越大会出場
 1000mH 5位・400mH 8位 田中祐里（1年） 北信越大会出場
 第19回北信越高等学校新人陸上競技大会

〈剣道部〉

1500m 8位 児玉天晴（1年） 3000mSC 8位 西村涼太（1年）
 第65回男子長野県高校駅伝大会 5位
 5月 高校総体東信大会 団体戦 男子 予選リーグ敗退
 個人戦 男子 3位
 女子 3位
 飯塚敦也（2年）
 青木舞海（2年）
 堀川千代里（3年）
 堀内映里（3年）
 大澤明季（2年）
 小宮山萌（2年）

6月 高校総体県大会 団体戦 女子 予選リーグ敗退

7月 東信選手権大会 2年男子の部 3位 小宮山萌

9月 真田幸村杯 高校男子の部 2回戦敗退

9月 彰劔旗 高校女子の部 1回戦敗退

10月 新人戦東信大会 高校女子の部 3位

11月 新人戦県大会 個人戦 男子 飯塚敦也（2年）
 奥村海斗（1年）
 小宮山萌（2年）

1月 選抜大会県予選 団体戦 男子 飯塚敦也（2年）
 奥村海斗（1年）
 小宮山萌（2年）

5月 東信総体 1回戦 上田西101-49白田

2回戦 上田西56-67上田染谷丘

順位決定戦 上田西70-49野沢南

5位決定戦 上田西53-62上田千曲

6月 県総体 1回戦 上田西63-97松本県ヶ丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西74-59丸子修学館

2回戦 上田西57-65岩村田

10月 東信新人 1回戦 上田西36-65上田東

5月 東信総体 1回戦 上田西31-88野沢北

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

女子バスケ部

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

10月 東信新人 1回戦 上田西31-88野沢北

5月 東信総体 1回戦 上田西71-78上田染谷丘

8月 東信選抜 1回戦

10月 東信新人 1回戦 上田西68-67北佐久農業

2回戦 上田西120-36岩村田

順位決定戦 上田西44-71上田

順位決定戦 上田西72-53小諸商業※東信7位で県大会出場

1回戦 上田西29-84豊科

11月 県新人

男子硬式テニス部

東信高等学校体育大会テニス競技 団体準優勝

シングルス 芳川浩一③7位有吉玲雄①8位 ダブルス 芳川浩一③有吉玲雄①準優勝

勝 荻原太一③武井雅秀③5位

平成26年度長野県高等学校総合体育大会テニス競技大会 団体県ベスト8

シングルス 芳川浩一③ベスト32有吉玲雄①ベスト32

ダブルス 芳川浩一③有吉玲雄①ベスト16 荻原太一③武井雅秀③ベスト32

2014全日本ジュニアテニス選手権U18男子U16男子SD長野県予選

18歳以下 荻原太一③シングルスベスト64

18歳以下 芳川浩一③シングルスベスト64

16歳以下 有吉玲雄①シングルスベスト16

18歳以下 芳川浩一③荻原太一③ダブルスベスト32

18歳以下 小林大輝③関将③ダブルスベスト32

16歳以下 有吉玲雄①ダブルスベスト8

国民体育大会テニス競技 長野県予選 有吉玲雄①ベスト32

ながのサマージュニアテニス大会 18歳以下 有吉玲雄①ベスト32

東信高等学校体育大会テニス競技 有吉玲雄①ベスト32

(兼第37回全国選抜高校テニス大会東信地区予選) 準優勝

平成26年度 長野県高等学校新人体育大会テニス競技大会 兼(第37回全国選抜高校テニス大会長野県大会) ベスト16

2014全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会長野県予選

有吉玲雄①ベスト32

平成26年度長野県高等学校秋季テニス選手権大会東信大会

男子A級シングルス県大会出場

有吉玲雄①ストレイトイン 柳澤祐人②優勝

男子A級ダブルス

準優勝 柳澤祐人②有吉玲雄①

4位 池田壮②御堂島樹②

平成26年度長野県高等学校秋季テニス選手権大会

男子A級シングルス

有吉玲雄①ベスト32 柳澤祐人②ベスト32

男子A級ダブルス

柳澤祐人②有吉玲雄①ベスト8 池田壮②御堂島樹②ベスト32

平成26年度全国私立高等学校テニス選手権大会北信越予選

柳澤祐人②御堂島樹②池田壮②有吉玲雄①予選リーグ敗退

長野県高等学校1年生チーム対抗戦 予選敗退

YONEX Xmas Cup 2014 Aチーム決勝トーナメント敗退 Bチーム予選敗退

東信高等学校体育大会テニス競技 団体優勝

松沢美咲③シングルス準優勝

女子硬式テニス部

森山未樹②シングルス5位

松沢美咲③森山未樹②ダブルス準優勝

平成26年度長野県高等学校総合体育大会テニス競技大会 3位

松沢美咲③シングルスベスト16

森山未樹②シングルスベスト32 松沢美咲③森山未樹②ダブルスベスト8

平成26年度長野県高等学校総合体育大会テニス競技大会 初戦敗退

2014全日本ジュニアテニス選手権U18女子U16女子SD長野県予選

18歳以下 松沢美咲③シングルス3位北信越大会出場

18歳以下 濱村紅映③シングルスベスト64

18歳以下 竹内未沙②シングルスベスト64

16歳以下 松沢美咲①堀内舞香①ダブルス3位

2014全日本ジュニアテニス選手権U18女子SD北信越予選

18歳以下 柴崎玲奈①堀内舞香①ベスト16

東信高等学校体育大会テニス競技 初戦敗退

平成26年度長野県高等学校秋季テニス選手権大会長野県予選

女子A級シングルス 県ストレイトイン 竹内未沙②

女子A級ダブルス 優勝 堀内舞香①4位

準優勝 三井春乃②堀内舞香①

平成26年度長野県高等学校秋季テニス選手権大会 女子A級シングルス

竹内未沙②ベスト64 堀内舞香①ベスト64 女子A級ダブルス

竹内未沙②柴崎玲奈①ベスト16 三井春乃②堀内舞香①ベスト32

平成26年度全国私立高等学校テニス選手権大会北信越予選

シングルス 竹内未沙②三井春乃②柴崎玲奈①堀内舞香①予選リーグ敗退

長野県高等学校1年生チーム対抗戦 予選敗退

YONEX Xmas Cup 2014 Aチーム決勝トーナメント敗退 Bチーム予選敗退

女子バレーボール部

第155回高校総体東信大会

1回戦 上田西2-0小諸商業 2回戦 上田西0-2野沢北

順位決定戦 上田西2-0丸子修学館 上田西2-0上田染谷

第5位で県大会進出

第155回高校総体県大会

1回戦 上田西2-0長野吉田

第156回新人戦東信大会

1回戦 上田西2-0丸子修学館 2回戦 上田西1-2岩村田

順位決定戦 上田西2-1野沢北 ※第5位で県大会進出

第156回新人戦県大会 1回戦 上田西0-2松商学園

〈女子バレーボール部〉

第155回高校総体東信大会

準々決勝 上田西2100小海 準決勝 上田西2100小諸商業

決勝 上田西2100野沢北 ※すべてストリート勝ちで3連覇

第155回高校総体県大会

1回戦 上田西 2100松本蟻ヶ崎 2回戦 上田西2100飯田風越

北信越大会代表決定戦(今回は5校出場)

1回戦 上田西 2100 諏訪二葉

決定戦 上田西 012 長野商業 ※以上よりベスト6

第156回新人東信大会

準々決勝 上田西2100野沢南 準決勝 上田西2100上田染谷丘

決勝 上田西2100丸子修学館 ※4大会連続優勝

第156回新人県大会

1回戦 上田西2100長野吉田 2回戦 上田西2100諏訪二葉

3回戦 上田西012松商学園 ※以上より、県ベスト8でした。

〈アーチery部〉

長野県高等学校総合体育大会 男子団体 2位(轟光、大日方海、中村鷹毅)

女子団体 3位(今井愛美、西村早紀、根石優花)

男子個人 4位 轟光 女子個人 1位 今井愛美

北信越高等学校校体育大会

男子団体 3位(轟光、大日方海、中村鷹毅、小澤祐哉、佐藤玲於奈)

男子個人 5位 轟光 9位 大日方海 女子個人 5位 今井愛美

全国高等学校総合体育大会

男子個人 出場 轟光 女子個人 9位 今井愛美

長野県高等学校新人大会

男子個人 出場 女子個人 3位 根石優花

〈ハンドボール部〉

第155回高校総体東信大会 出場

第65回高校総体県大会 出場

第156回高校総体東信大会 出場

高校総体 東信大会 男子シングルス 箱山 梓(1年) 10位

女子団体 8位 女子ダブルス 関谷静香(1年)・田口稀菜(1年)ペア 6位

高校総体 長野県大会 男子シングルス 箱山 梓 1回戦敗退

女子団体 1回戦敗退 女子ダブルス 関谷静香・田口稀菜ペア 2回戦敗退

全日本ジュニア卓球大会 東信大会 男子シングルス 箱山 梓(1年) 10位

女子シングルス 関谷静香(1年) 優勝

全日本ジュニア卓球大会 長野県大会 男子シングルス 箱山 梓 3回戦敗退

女子シングルス 関谷静香 4回戦敗退

新人戦 東信大会 男子シングルス 箱山 梓(1年) 3位

女子シングルス 3位

女子ダブルス 関谷静香(1年) 準優勝

女子シングルス 関谷静香(1年) 田口稀菜(1年)ペア 3位

新人戦 長野県大会

男子シングルス 箱山 梓 1回戦敗退

女子団体 ベスト16

女子シングルス 関谷静香 2回戦敗退

長野県高等学校総合体育大会

女子団体4位(小相澤瑞穂、小出遥名、長崎晶子、米永祥子)

新人東信大会 男子団体3位(原海晴、佐藤岳) 女子団体3位(長崎晶子、米永祥子)

第5回全国高等学校選抜クライミング選手権大会女子個人75位(予選敗退)米永祥子

〈フットサル部〉

長野県2014後期U18フットサルリーグ 第5節(VS岡谷工業高校) 3位入賞(後期)

長野県2014後期U18フットサルリーグ 第4節(VS日本ウェルネス高校)

長野県2014後期U18フットサルリーグ 第3節(VS塩尻アンテロープ)

長野市フットサル連盟レディーズリーグ第3節(女子) 参加

JFAフットサルエンジョイ5大会(ビギナー・男子) フェアスタステージ優勝

長野県2014後期U18フットサルリーグ 第2節(VS高遠高校)

長野県2014後期U18フットサルリーグ 第1節(VS松本美須ヶヶ丘高校)

長野市フットサル連盟レディーズリーグ第2節(女子) 参加

長野県2014前期U18フットサルリーグ 第5節(VS松本美須ヶヶ丘高校) 4位(前期)

長野県2014前期U18フットサルリーグ 第4節(VS日本ウェルネス高校)

長野県2014前期U18フットサルリーグ 第3節(VS高遠高校)

長野県2014前期U18フットサルリーグ 第2節(VS塩尻アンテロープ)

TSBマイチャックアップ2014 - Stage 2(男子)・ビギナー決勝 出場

長野県2014前期U18フットサルリーグ 第1節(VS地球環境高校)

長野県2014前期U18フットサルリーグ 2014年度オープン戦(男子) 参加

TSBマイチャックアップ2014 - Stage 2(男子)・ビギナー予選 決勝T出場

〈スキースノーボード部〉

1年2組 大塚 匠(アルペン)

1月 総体予選県大会男子SL 県大会出場(42位)

1月 総体予選県大会GS 県大会出場(41位)

1月 国体予選県大会 少年男子の部 県大会出場(44位)

3月 新人戦県大会 県大会出場

他、SAJ公認大会・FIS公認大会に出場

1年1組 川田佑香(フリースタイル)

2014・15 長野県スキー連盟強化指定選手 指定

12月 長野県スキー連盟強化合宿 参加

1月 長野県スキー連盟強化合宿 参加

2月 国民体育大会 フリースタイル競技 全国優勝

3月 全国高校選抜 フリースタイル競技 全国大会出場

他、SAJ公認大会・FIS公認大会に出場

〈バドミントン部〉

5月 第155回東信高等学校(総合)体育大会 学校対抗 女子…ベスト8

ダブルス 男子…久保田 開・志津田 涼矢ペア 2回戦進出

女子…甲田 大河・塚田 光樹ペア 2回戦進出
山口 彩香・柳澤 由貴恵ペア ベスト8
志賀 綾乃・山岸 莉穂ペア 2回戦進出
高松 成美・中田 しおりペア 2回戦進出

シングルス

男子…小林 悠人 2回戦進出
女子…浦野 香奈子 3回戦進出

6月 第69回国民体育大会東信地区予選

ダブルス 女子…春原 彩香・柳澤 由貴恵ペア 準優勝(県大会出場)
シングルス 男子…甲田 大河 3回戦進出
女子…西沢 瑞苗 2回戦進出、中野 愛理 2回戦進出

7月 第69回国民体育大会長野県予選会

ダブルス 女子…春原 彩香・柳澤 由貴恵ペア 初戦敗退
第33回全日本ジュニア選手権東信地区予選会
ダブルス 男子…小林 悠人・下形 大河ペア 2回戦進出
久保田 開・中村 優希ペア 2回戦進出
女子…渡邊 千尋・渡辺 智華ペア 2回戦進出

シングルス

男子…中村 優希 2回戦進出、甲田 大河 3回戦進出
女子…大谷 咲也香 2回戦進出

10月 第4回東信地区高等学校ジュニアプラスシングルス大会

女子…渡邊 千尋 3回戦進出、中曽根 美咲 3回戦進出
第156回東信高等学校(新人)体育大会
ダブルス 女子…岸田 彩花・島野 七海ペア 2回戦進出
シングルス 男子…塚田 光樹 2回戦進出
甲田 大河 3回戦進出、上野 泰知 2回戦進出
女子…西沢 瑞苗 2回戦進出

12月 東信地区高等学校1年生シングルス大会

男子…堀田 拓海 3回戦進出、酢谷 平 4回戦進出
黒澤 慎哉 4回戦進出、宮澤 康平 3回戦進出
関口 孝汰 2回戦進出、堀内 拓陸 ベスト16
女子…大谷 咲也香 ベスト8、白石 唯 3回戦進出
滝澤 英里 ベスト8、岸田 彩花 2回戦進出

2月 東信地区高等学校1年生ダブルス大会

男子…酢谷 平・堀内 拓陸ペア ベスト16
笠井 拓実・坂口 怜也ペア ベスト16
荒井 大輔・小林 那早ペア 3回戦進出
女子…岸田 彩花・島野 七海ペア 2回戦進出
大谷 咲也香・滝澤 英里ペア 3位

〈Dプロジェクト部〉

地域合同西上田駅南口広場清掃・花植え(6月、10月) 上田わっしょい下塩尻連参加
第12回緑のフェスティバル西上田駅 西上田駅南口広場イルミネーション装飾

〈JURC〉

・エコキャップ(通年)・文化祭展示(フィリピン歯科医療ボランティア/募金活動)・夏のボランティア(うぐいす敬老園/しいのみ療護園/みどりの風の郷/高齢者福祉センター)
・千曲荘病院祭
・赤い羽根共同募金
・緑のフェスティバル
・長野県北部地震義援金募金・塩尻/秋和地区独居高齢者にクリスマスプレゼント
・春のボランティア(春休み)

〈華道部〉

・緑のフェスティバル
・小原流華道展

〈ECCC〉

・第10回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト 学校活動部門 優秀賞
・西高祭展示発表「世界に誇る上田紬」展示の部 最優秀賞

〈家庭科部〉

・CCGS 留学生5名 歓迎会 交流会他
・アメリカ コロラド州 ブルームフィールド 学生との交流 上田紬の紹介

〈茶道部〉

2月 NAGANOデザインフェスタファッションショー参加
5月 東信音楽祭呈茶(東御サンテラスホール)
11月 裏千家茶会参加
12月 炉開き

〈チアリーダー〉

7月 硬式野球引退試合応援
7月 硬式野球選手権予選県大会初戦 4回戦応援
7月 ラグビー全日本チーム歓迎会参加
8月 軟式野球選手権全国大会応援
11月 サッカー選手権予選県大会準決勝戦・決勝戦応援

〈書道部〉

・校内壮行会応援
・サイモンサンチェス(グアム) 歓迎集会
・CCGS(オーストラリア) 歓迎集会

第43回 四国大学全国書道展

準特選 3年 原野乃梨子 2年 林 真奈未 池田有紀 笹井杏佑子
入選 2年 近藤みなみ 1年 渡邊真悠

第67回長野県書道展 高校生の部

特選 2年 堀内麗子
銀賞 3年 原野乃梨子
銅賞 2年 池田有紀 林 真奈未 笹井杏佑子

軟式野球部との3年間

軟式野球部監督 矢澤 龍一

9回裏2死2・3塁、スコアは5-3と本校2点リードで迎えた最後の守り。打順は上位に回り、この大会当たっている1番打者と対峙する。一打目の大ピンチ。一度タイムを取り、勝負することを確認する。カウント2-2からの第5球目。外角に落としたスライダーにバットが空を切る。ゲームセット。本校にとって3度目、私個人としては初めての全国大会出場を決めた2014年。監督就任3年目でこのような結果を残すことができて少し肩の荷が下りた。そんな気持ちになったことを今でも鮮明に覚えている。負けられないプレッシャーの中、しかも勝って当然と思われるチームが勝ち続けることの難しさを肌で感じた。しかし、選手たちはその大きなプレッシャーを乗り越え、一番大切な場面で力を発揮し続けた。非常に称賛に値する。彼らと一緒に過ごした3年間で振り返らせていただく。

「軟式野球界の現状」

高校スポーツの大きな華の1つである甲子園という舞台がある硬式野球が光だとすると、軟式野球は陰だ。それは部員数、加盟校数、その他の面から顕著に表れる。日本高野連の調べによると、硬式野球部員数17万321人に対し、軟式野球部員は1万535人。硬式野球部加盟校数が4030校に対して軟式のそれは460校。およそ10分の1程度の規模と考えて良い。メディアの扱いは10分の1以下。新聞での扱いは小さく、全国大会のテレビ中継は基本的にはない。軟式野球にはプロもない。軟式野球をやっていたからと言って、それをアピールして大学進学を決めることも容易ではない。同じ野球であるが取り巻く環境は天と地ほど差がある。

「軟式野球という新しいスポーツ」の存在」

同じ野球との見方は間違っている、そう気付くのに多くの時間はかからなかった。競技の特性が全く違う。簡単に言うると得点が極端に入りづらい。だから、その1点を取るための戦術、その1点を与えないための戦略、その1点の為の日頃の練習や考え方がまるで違う。

私自身軟式野球に関しては素人同然。少しでも軟式野球に適した指導ができるようにと、練習試合先の監督さんに勉強させていただいた。しかしこれがさらなる混乱を招いた。今になって思えば、軟式野球部の監督には独特の感性をお持ちの先生がかなり多い。良い意味では私の視野が広がり、乱暴な言葉を使えば野球観が全て崩れた。特に1年目は軟式野球というのが理解できなかった。硬式野球と軟式野球との違い。極端に言うならばバスケットボールとサッカーのような、バレーボールとバドミントンのような感覚。似ているようで特性の全く異なる競技であった。

「2年目の転機」

1年目はまるで結果が出なかった。目的地のない地図上を彷徨う感覚と言えば良いだろうか。到達点がわからない。今現在の立ち位置も見えない。そんな感覚であった。

2年目。大きな転機が訪れる。齋藤和平先生が正式に軟式野球部の顧問になったことだ。名目上は事務局（大会運営等を行う）が本校に回ってきたから、というものの。しかし、土日の練習試合には、ほぼ必ず同行してくださった。ある監督さんにこう言われた。「この人（齋藤先生）を紹介されたときに、ヤバイ。と思った。これから上田西は来るな、と。だってそうでしょう。強いチームには必ず参謀役がいる。ほら、葛監督のところもそう。」

池田高校の「やまびこ打線」を率いた葛監督は、甲子園春夏通算5度の優勝を誇る。葛監督の奥さんは寮母をしており、監督に叱られてひどく落ち込んだ生徒にそっと寄り添った、というのには有名な話。他にも、横浜高校では、渡辺監督と小倉部長の二人三脚。特に松坂大輔（現・ソフトバンク）の才能を見出し、育て上げたのは部長の小倉氏である。また、彼の細かな戦術が記

載された「小倉ノート」で数々のドラマを起こした。最近の話では、桐光学園の松井祐樹（現・楽天）を攻略した。これは小倉氏の分析に裏付けられた戦略通りだったとか。PL学園の中村順司監督は、甲子園20連勝という伝説の監督だが、桑田真澄（元・巨人）を投手として見出したのは投手コーチの清水氏というのも有名な話。桑田は入学当時、中村監督から「投手失格、外野へまわれ」と言われたそうだ。

どんなに経験のある指導者でも1人で指導することには限界がある。それは所帯が大きくなればなるほど。また野球の練習は非効率的で、練習内容も多岐にわたる。恩師にあたる齋藤先生と指導させていただけただけことは、私にとっての大きな光となり、少しずつ迷いが消えていった。

「勝負の3年目」

軟式野球の全国大会は夏の1度のみ。夏の大会は3年生にとって最後の大会となる。夏、勝つためには、3年生の力がものを言う。これは間違いない。力とは技術的なことはもちろん、精神面を含めた力である。どの競技でも同じだと思うが、最後の大会というのは実力通りにいかないことが多いのではないか。精神的にまだまだ未熟な高校生、しかも一発勝負であれば番狂わせが当然起こる。それには、精神的な強さ・タフさが大きく影響する。今年の3年生は「絶対に全国へ行き、1勝して国体へ行く」という強い思いで団結し、日々の生活にも目を向け、彼らなりに野球以外のところでも努力していたように思う。

彼らは、秋季県大会、秋季北信越大会、春季北信越大会と、圧倒的な強さで勝ち上がり、優勝を果たした。春季県大会では足元をすくわれたが、それ以外の試合では他を寄せつけなかった。当然夏の大会では優勝候補と呼ばれた。しかし、私にはこれが大変気掛かりであった。本番前の春季大会で結果を出してしまうと勘違いする。「俺たちは強いんだ」と。春季北信越大会決勝は、長野県大会で優勝した松本工業相手に9-4と勝利した。優勝を果たし、選手たちは当然喜んでた。そんな選手達に、私は試合後のミーティングで話をした。「勝った以外になにも収穫はない。これが夏の全国を懸けた試合

であれば褒めよう。良くやった、全国を決めたな、と。しかし今はまだ春だ。このままでは夏、勝てないよ。夏はそんなに甘くない。勘違いするなよ」と。「勝ったのに説教かよ？」選手たちの表情から読み取ることができた。夏までの1ヶ月がそれだけ大切だと伝えたかった。

「夏のむずかしさ」

全国大会出場を獲得するためには、まず県ブロック代表（長野県は2校）を勝ち取り、北信越大会で優勝することが必要になる。つまり北信越で1校しか全国大会へ出場できない、非常に狭き門だ。組合せが決定し、1つ目の難関は、県代表決定戦の松商学園戦。今シーズンは過去2度対戦し、7-0、2-0と快勝していた。精神的にはこちらが有利はず。そう思っていた。しかし、試合が始まると完全に主導権を握られた。初回に2点を先制され、なんとか1点返すも再び2点を取られ突き放される。終盤までに1点返すのがやっとで2-4のまま9回裏1死と土俵際まで追い込まれた。6番打者が四球を選び、7番打者がレフト前ヒット、8番打者が四球で1死満塁。彼らは最後の意地を見せる。9番打者の時、相手投手の暴投で1点返し3-4。9番打者が倒れ2死2、3塁。打ち取られれば終わりという最大のプレッシャーがかかる場面で、回ってきたのは1番打者。カウント2-2と追い込まれながら、放った打球はライト前へ。一気に二者が生還し、逆転サヨナラ勝ちで県ブロック代表を掴み取った。9回1死までは完全な負け試合。相手投手は勝ちを意識したのか、何の前兆もなく突然崩れた。もしかすると、「今まで勝てていない上田西に勝てる…」そう思って精神のバランスを崩したのかもしれない。高校生のメンタルは非常に脆い。それでも土俵際から立て直した彼らの強さを実感し、頼もしかった。

その後はなんとか北信越を勝ち上がり、決勝まで駒を進めた。富山の蒸し暑さの中、連戦による疲れが見えた。あと一つ。相手は富山商業。秋、春と結果は残せていないが、夏はまるで別のチームかのように仕上げてきた。正直勝てるかどうか五分五分。いや、地の利を考えると、正直分が悪いと思っていた。「勝つと負けるでは天と地だな…」そんな思いだった。

決勝戦当日、県営富山球場には多くの応援団が駆け付けた。もちろん富山商業の大応援団だ。硬式野球部、吹奏楽部、今どき珍しい応援部等、完全アウェイでの試合を強いられた。試合前のミーティング。話したいことはたくさんあった。しかし今の彼らには、彼らの心へダイレクトに届く言葉がいい、そんな気持ちで話した。「お前たちいいなあ。羨ましいよ。こんな雰囲気の中でゲームができて。しかも全国を懸けたゲームだろ。一生の思い出だぞ。できることなら代打オレって言いたいくらいだ。」選手たちが笑った。「球場の雰囲気最高だな」、「高校野球してるって感じ」と選手達は言う。いい雰囲気だ、のまれていない。そう感じた。試合は冒頭に書いた通り、終盤もたもたしたが終始主導権を握り、最後は5 - 3で振り切り、3年ぶり3度目の優勝を果たした。

「全国レベルを感じる」

このチームが発足し、「絶対に全国に行く」ためには、「全国で勝つチーム」を肌で感じる必要があると思った。要は「本物」のチームを見せて、ここまですでやらなければ届かない、ここまでやっているチームが目指す場所だ、と浸透させたかった。無礼を承知で全国の強豪校に練習試合のオファーをした。全国優勝最多の8度を誇る作新学院、同7度の中京高校、同6度の龍谷大平安、同2度の静岡商業、前年全国ベスト4のPL学園、出場10回以上の比叡山高校、天理高校等々…。これらの試合経験が、全国出場を決める大きな要因の1つになったことは間違いない。

全国大会の組合せが決まった。相手は広島県の崇徳高校。どうも調べると、2枚看板の投手がかなりいいらしい。エースが190cmの長身から140km超の速球に、縦・横のスライダーが武器。2番手投手は、右サイドから左右に投げ込む技巧派。地区予選5試合でわずか2失点と盤石な投手陣であった。とはいえ、全国の強豪校と試合を重ねた経験がある我々には、「いい投手」ある程度のイメージ・想像」ができた。

試合が始まり、相手投手は意外にも2番手の技巧派…のはずが、直球は135kmを超す怪腕であった。しかも精密機械のような抜群のコントロールで

的を絞らせない。終盤、満を持して登板したエースは140kmを超す怪物であった。完全に「想像以上」の投手であった。試合はゲームプラン通り先制したが、2人の怪物の前に踏ん張りきれず、1-2と惜敗した。これまでの練習試合でも見たことのないような投手が2枚も登場した。これが全国レベルか…。世の中には、圧倒的に野球がうまい人、信じられなくらい頭のキレる人、想像もできない発想力を持つ人など、世界が広がれば広がるほど超人かと思うような才能を持った人がいる。まさにそれを体感した。この経験は今後の人生の教訓として活かさなければいけない。勝つことができず、国体出場も逃したが、全国大会でしかできない貴重な経験を積むことができた。

「人としてできる人になる」

高校生活は、人の一生で考えてしまえばほんのわずかな期間である。しかしこのわずかな期間が人生の宝になるのではないかと思う。「みんなは大好きな野球をやっているんだろ？ だったら野球から何を学ぶか、これが大事じゃないか。ほとんどの人は、いつか野球から離れる瞬間が来る。その時、なにも残っていないようでは悲しいぞ。」そんな話を何度もしている。確かに全国大会出場という大きな功績をあげた。勝負事なので勝つてなんぼの世界。だが、それが社会に出てどれほど価値のあるものなのか。私はそれよりも大切なことがあると思っている。そのことに気が付き、自分自身と向き合い、自らの成長につなげるからこそが、高校の部活動の本質であり、この先何十年の人生の糧になるのではないかと思う。軟式野球部を卒業していった選手たちが、数年後、あるいは数十年後、大人になっても自分の生きる道で輝き続けてほしいと願っている。

最後になりましたが、今回の軟式野球部全国大会出場にあたり、各方面でご尽力賜りましたこと、大変感謝いたします。今でも、全国大会のスタンドを埋め尽くした大応援団の姿が目に残り付いております。心より感謝いたします。今後、更にもう一段上のステージに上がれるよう、選手ともども精進してまいります。よろしくお願いいたします。

一学年 台湾修学旅行

二学年主任 和田弘実

本校の修学旅行は、20年程前中国を皮切りに海外の様々な地域を訪問しており、本年度は初の台湾への修学旅行が実施された。西高の修学旅行の主目的に平和学習『第二次世界大戦、太平洋戦争における歴史を学び、平和を考える』が掲げられており、その観点から日本人としての被害者および加害者の立場から戦争、平和に関する学習を経て、各目的地にて平和セレモニーをはじめ、R長会を中心に工夫された様々な取り組みが展開された。台湾修学旅行の目的では『歴史学習』を主とし、戦後70年を経過し戦争と平和について再認識しつつ、新たな世代へグローバルな観点から目的を一新し、東南アジアと日本の歴史・経済交流・文化交流等『歴史学習』を学ぶ場とした。

さて、初の修学旅行先ということもあり、学年としても事前学習として多くの取り組みが実施された。当初生徒間では前年度のグアム修学旅行からの変更もあり、ややもすればイメージ的にアジア方面への旅行に抵抗を感じる様子はあったが、現在の台湾の様子を丁寧にプレゼンテーション等実施し、学習係の生徒による西高祭での台湾紹介、各クラス台湾文化の学習および交流会へむけ日本紹介プレゼン作成・クラス代表による学年プレゼン大会。交流先の生徒との二度の文通等を通じ、生徒の中で台湾への期待が徐々に膨らんでいき当日を迎えることができた。



【学校交流】

今回の交流校は高雄市にある「立志高校」。全校生徒7000名を超える高校で多岐にわたる学科で構成されている大規模な学校である。宿泊先の台北から新幹線を利用し訪問したが、市をあげての歓待であり、過去に経験のない大規模な内容とセレモニーは圧巻であった。両校のプレゼンテーション・ダンス発表後、各自文通相手の交流・ランチ等非常に和やかで中身の濃い内容であり、時間経過をわすれる一時となり感動的であった。別れの場面では互いの生徒が連絡先を交換するなど名残惜しい姿が印象的であった。

【ホテル・食事】

ホテルは四つ星で清潔感もあり非常に快適に過ごすことができた。基本的には二人一部屋の利用でスペースは十分広く、生徒にとっても安らげる空間であったと思う。食事面では和・洋・中と豊富なバイキング形式で内容も十分である。本場中華料理の独特な香辛料の香りにやや戸惑いを感じる生徒も若干いたが、デザートを含め好評であった。また、ホテル外では歴史的遺産である「圓山大飯店」のコース料理、台湾観光客一番人気の「鼎泰豊」の小籠包等バラエティーに富み、生徒の胃袋を満たしてくれた。

【見学場所】

台湾は人気スポットが非常に多く、九份（映画「千と千尋の神隠し」のモデルとも言われる町でそのレトロな雰囲気から人気の観光スポット）・故宮博物院（中国文化の集大成といわれる文物の展示）・忠烈祠・中正紀念堂（元中華民国総統「蒋介石」を記念して建てられ



た)は歴史・文化を感じることができ大変興味深い内容である。新名所としては台湾101タワーが象徴的であり、展望台からの夜景は圧巻。また、夜市体験は活気ある地元市民の様子が垣間見られ、生の台湾の生活に触れる貴重な体験となった。各クラス別行動では足つぽ体験(軽い悲鳴と笑い声)・占い(真剣な顔で将来を占ってもらう様子)・台北動物園(165ヘクタールの広大な動物園。パンダと遭遇)・龍山寺(地元住民の信仰・活動の中心)等各クラスの特徴あふれる内容であり、生徒にも好評で笑顔が絶えない様子であった。四日目午後はブラザー&シスター(台北の日本語および文化に関する研究する大学生。ボランティア参加してくれている)による市内案内。7〜8名1班に1名付いていただきショッピング・案内・観光等生徒の様々なニーズに添えてくれた。夕食も各班大学生と食事を摂るなど、年齢も近いせいか親近感をもって接してくれ、短時間ではあったが交流を深めることができた。

【自主規律】

本校の修学旅行は伝統的にR長会による自主規律が確立されており、今回も各クラスR長を中心に提案され生徒への徹底が図られた。自主規律は目的達成のために生徒が原案を考え、提案し、学年生徒集団がお互いに注意し合えるものであり6項目が決定・実施された。

- ① 時間厳守と班行動について。
- ② 乗り物及び車中について。
- ③ 宿舎について。
- ④ 外出(夜市・ブラザー&シスター)。
- ⑤ 服装について。
- ⑥ 健康管理について。

詳細については割愛するが、今回の旅行では各自の自覚もあり規律あるものとなった。

ホテル内のエレベーターの不具合による食事の若干の遅刻はあったが、全体的に守られた成果は大きかった。ホテル内・



見学場所等において何名かの日本人観光客。またガイドさんにお褒めの言葉をいただきたいことは学年としても喜びであり、R長会を中心とした生徒に感謝したい。

【台湾修学旅行を経て】

現在台湾は中国との関係もあり国際的には微妙な立場にあるのは歪めないが日本との関係は歴史的にも非常に深いものがあると思われる。戦前は日本の統治下に治まり、現在も年齢を経た方の多くは日本語を話すことができる。台湾の多くのかたは親日家であり、今日の台湾の礎を築いた根幹に統治下における日本とのつながりを感じている様子がかがえる。台北―高雄間を運行されている新幹線も日本からの技術援助と車両によって開通され、また、経済的關係も深い。東日本大震災における海外援助も台湾がトップであり、日本への愛着が強いようである。今回の修学旅行においても親日感を随所に感じられ、気持ちの安らぎを得ることができた。ここ数年長野県と台湾観光協会のつながりが強まり、本校も毎年台湾の修学旅行を受け入れ、交流を交わす関係となってきた。『立志高校』との交流会もセレモニーの素晴らしさもあるが、個々の生徒が心から西高校の生徒と親密になりたいと思う雰囲気があり感動した。また、ホテル・ガイド・見学場所・体験学習・ブラザー&シスター等においても日本との歴史的なつながりを感じ、親日感修学旅行において安心感があった。初の台湾修学旅行ということもあり、生徒の反応に一抹の不安があったが、アンケート結果をみると90%以上が概ね満足感を得ることができたようである。また、保護者アンケートをみても同様な結果が得られた。学年団としてR長会・学習係をはじめとする各係が機能し、当初の目的をほぼ達成することができ、思い出深い修学旅行となった。



「政治経済」の授業における

模擬選挙の試み

地歴公民科 宮坂 正 議

はじめに

3年生I類の選択授業「政治経済」・2年生特進コースの「現代社会」では、昨年12月の衆議院議員総選挙に合わせて、模擬選挙を行いました。2012年の衆議院議員総選挙、2013年の参議院議員総選挙について本校では三度目の国政選挙での「模擬選挙」となります。(このうち2012年の実践については生徒の反応も含め「西高の教育57号」および「研究・報告収録19号」に詳述しています。)

一昨年度に「模擬選挙」を始めた目的のひとつは、生徒たちに政治経済という「座学」を俯瞰的に見つめなしてもらうこと。私たちの生活や社会を自分たち自身の手でつくってゆくために欠かせない、アクチュアリティをもった教科として授業を捉えなおして欲しい、と考えたのです。また昨今、国政選挙での投票率は低迷しています。「戦後最低」といわれる数字を毎回のよう突きつけられるにつけ、教育の現場でなにかできないか。そういった思いもありました。「模擬選挙」で学んだ生徒たちが、近い将来、選挙権をもったときに面倒がらずに自分の意志を表明してほしい、そういう願いも込めて授業を展開しました。

ここでは、今年度筆者が実際に関わった講座(3年I類選択4「政治経済」1〜3組)での実践を中心に報告します。



実際に選挙で使用される投票箱をつかう

実践の概要

実践の概要を以下に箇条書きでまとめておきます。

- (ア) 実施科目
3年I類(総合進学) 選択4「政治経済」(3単位) × 2講座(約60名) および2年特進コース「現代社会」(2単位) × 1講座(約20名)
- (イ) 担当者
・宮坂正議・町田耕(以上、「政治経済」、森下暁(「現代社会」))
- (ウ) 実施日(政治経済)
・事前学習：平成26年12月4日(木)より四時限分
・模擬選挙：平成26年12月12日(金) 第1時限(家庭科室にて)
・事後学習：平成26年12月15日(月) 第6時限
- (エ) 学習目標
①衆議院選挙の流れを実際に経験させることで、教科書中心の学習をリアリティある生きた知識へと昇華させる
②模擬投票の学習のなかで、各政党間の公約等を比較させ、現代の社会・政治問題の争点を理解する。
- (オ) タイアップ
東京都内に事務局を置く「模擬投票推進ネットワーク」(*以下「模擬選ネットワーク」) (代表：林大介氏：東洋大助教) と連携し、「未成年」模擬選挙2014」に参画。

授業展開

実際の衆院選投票日が12月14日(日)でしたので、その直前の12月12日(金)の授業で模擬選挙を行うこととし、そこから遡って四時限分を事前学習時間として確保しました。実際の衆院選後に模擬選挙の結果を公表、考察を加え、計6時限となりました。それぞれの授業について概要を報告します。

て学習しました。

④ 12月11日(木)：政党公約比較等まとめ(大学生とのグループワーク)
 大学生とのグループワークの二日目では、自分たちが実現してほしい政策を班ごと発表することを目標としました。KJ法を応用し、班ごと模造紙に「やってほしい政策」を付箋で貼ってゆきます。その中から班として最も訴えたい政策を発表してもらいました。一連の作業を大学生に引っ張ってもらいました。

⑤ 12月12日(金)：模擬選挙

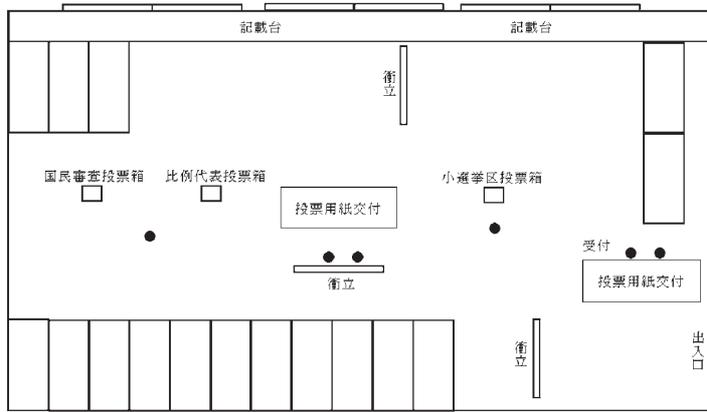
各講座から3名の選挙管理委員を出してもらい、前日に会場準備をしました。実際の選挙に使用される投票箱を青木村選挙管理委員会よりお借りし、なるべくリアルティある投票所をつくります。

投票用紙もリアルなものにします。用紙の色が県ごとさまさまっており、今回は小選挙区が「オレンジ」、比例代表が「浅葱色」、最高裁判官国民審査が「白地に赤字」でした。

当日は各種メディアの取材もあり、多くの生徒がインタビューを受けました。このことは生徒たちの学習に緊張感をもたらす効果もあったと思います。約60名が順番に投票しましたが、スムーズに流れ時間内に無事終えることができました。

⑥ 12月15日(月)：結果発表と考察

投票結果は12月12日(金)に「選挙管理委員」中心に即日開票してありましたが、公職選挙法の関係で、実際の国政選挙の結果が出てからの公表とな



会場図 (●印は選挙管理委員)

りました。本校での結果は「表」のとおりです。
 小選挙区(長野3区)

総 無 効 票 数	政党										総 無 効 票 数	氏 名	本校での 得票数	本校での 得票率	実際の選挙での 得票率	差				
	幸 福	生 活	次 世 代	公 明	社 民	維 新	共 産	民 主	自 民	政 党							寺 島 義 幸 (民主)	唐 沢 千 晶 (共産)	木 内 均 (自民)	井 出 庸 生 (維新)
72	2	1	2	2	3	4	8	16	17	17	71	2	10	14	22	23	本校での 得票数	本校での 得票率	実際の選挙での 得票率	差
		1%	3%	3%	4%	6%	11%	22%	24%	24%			14%	20%	31%	32%				
		1%	2%	2%	9%	3%	13%	10%	22%	36%			29%	12%	25%	34%				
		0%	1%	1%	-5%	3%	2%	12%	2%	-12%			-15%	8%	6%	-2%				

最高裁判官国民審査

氏名	本校での×の数
鬼丸かおる	8
木内 道祥	5
池上 政幸	6
山本 庸幸	8
山崎 敏充	6

授業では、実際の選挙結果と西高内での結果との相違を確認し、その理由を考えました。ただし、数が少ないので統計上意味があるわけではありません。傾向としては、「組織票」の有無を考えさせられる結果とも言えなくもありません。また、高校生なりの投票行動であったとは言えることができるでしょう。

まとめ

「模擬選挙」の実践では、もちろん投票そのものの経験がメイン・イベントとはなりますが、事前学習・事後学習の充実が実践の意味を決定づけることは言うまでもありません。「教科書をこなす」という前提の中でなかなか授業時数の捻出が難しいのは事実ですが、本校では4時間ないし5時間の事前学習時間を確保してきました。そのなかで今回新たに導入したのは「大学生との共同作業」でした。「若者」というくり方が適切かはわかりませんが、いわば同世



「自分たちの意見」を掲げ大学生と記念撮影

代と「政治」を考える経験は、実際の社会での政治行動につながるのではないか、上から「考えなさい」と指示するのでは質が違わないか、と考えています。実際、昨年度・一昨年度に比べ「事前学習」のなかで一人が政治について発言する機会を増やすことができました。日常生活の中に「政治経済」で学んだ知識が生かされてゆく一端を経験してもらったことができたものと思います。この延長上に、若者の投票率アップが見えてくることを願ってやみません。

日本ではかつて文部省通達によって、未成年には「政治教育」は必要ない、むしろすべきでないと言われた時代もあったといえます。しかし現在は、総務省も文科省も、選挙管理委員会も、長野県においては教育長もこの「模擬選挙」の有効性に注目し、むしろ推進する立場をとっています。他県の、特に公立学校の状況に触れると、単純な誤解から学校で「模擬選挙」などやってくれるな、という扱いをうける実践者は少なくないようです。そのような中で、本校での実施には多方面からのご理解とご協力をいただき、西高生の学習を深めることができたことに感謝します。

18歳選挙権が現実のものとなる見込みです。2016年に予定されている参院選では、高校三年生が選挙権を持つことになる可能性が高いのです。教室の中に有権者と非有権者が混在するという状況では、いくらかのクリアすべき技術的な問題はあるにせよ、中立で公正な政治に関する教育は益々重要度を増してゆくでしょう。本校での「模擬選挙」の試みが、その中核を担うことになることを期待しています。



模擬投票当日（家庭科室にて）

土曜補習の実践報告

理科 渡邊 武志

今年度の土曜補習で、2年生の生物を担当させていただきました。3年生だと目前に迫ったセンター試験対策を行うのですが、2年生ですので少し変わった視点から補習を進めていこうと考えました。

現在学習している新課程の生物基礎は、旧課程の生物Iと比べて分子生物学的な内容が多くなっています。そのため実験や観察をする機会が少なくなってしまうかもしれません。私の考える生物という教科のおもしろさは、身近な生き物や現象に疑問を持ち、見て、触って、考えて、答えを導き出すことです。高校では部活動でイモリの四肢の再生、植物細胞の培養、ウキクサやタンポポを指標とした環境調査などを行い、また授業では探究活動としてイチヨウの葉に含まれる色素の季節変化を調べました。未熟ながら精一杯取り組んだ事が印象に残っています。一方、大学では遺伝子やタンパク質の実験が中心となり、高価で特殊な機器を使った分析に生物をあつかうという実感が湧きませんでした。そのことから教職を意識していたので、高校生と一緒に研究するためはどうしたらいいかを考え、高価な機材を使わずどこでも研究ができる生態学を専攻しました。この原稿を書きながら改めて思うのは、生物のおもしろさを生徒に伝えたいという想いが常にあったということです。それは私を指導し育ててくださった先生方への恩返しでもあるからです。だから大学院を中退して教職に就くときも、まったく迷いはありませんでした。想いばかりが大きく、どこまで実践できているかわかりませんが、生物を学ぼうとする生徒には、授業でも実習でもできることを精いっぱい伝えてきたつもりです。

さて、2年生の土曜補習は全11回(各回60分)です。せっかくの機会ですの

で実験実習を通して生物のおもしろさを伝え、科学的思考の育成を目指そうと思いました。難しいことをせず、生徒がもう一度取り組みたいと思ったらすぐに始められる内容で、簡単に手に入れることができる教材を使うことを意識しました。各回の目標と概略、生徒の様子をまとめていこうと思います。

○第1回 オリエンテーションと、スケッチの方法

目標 スケッチを通して、観察力と伝達力を身につける

概要 オリエンテーションでは、土曜補習の計画と目標を示し生徒に理解してもらいました。そのあと、デジタル記録に頼らないスケッチの大切さを説明し、私が高校時代に描いたスケッチをサンプルとして示しました。スケッチを通して対象物をよく観察し、特徴をつかみ、意味のあるデータを作成することができそうです。

生徒の様子 ルーペを使って桜の葉を観察したのですが、葉脈の配列や、葉の凹凸、縁のギザギザなど新しい発見があったようです。見えているすべてを書くのではなく、伝えたいことを的確に記録することは新しい感覚だったようです。



○第2回 顕微鏡の使い方とスケッチ

目標 顕微鏡観察とミクロメーターの使い方理解する

概略 授業でも学習した顕微鏡の使い方とプレパラートの作成、ミクロ

メーターの使い方を復習しました。どれも生物を学ぶ上で基礎となる内容です。試料はタマネギを使用しました。顕微鏡で細胞や核の大きさを測定しス

ケッチをする事で、基本操作を習得させました。

生徒の様子 一人一台の顕微鏡を使って観察することは、生徒の探究心を大いに刺激したようです。複数のプレパラートを作成して観察する様子が見え、うかがえました。数をこなすことで技術が向上しました。

○第3回 タマネギ鱗片葉細胞の大きさの測定①

目標 仮説を立て、検証実験をする

概略 探究活動の基本は仮説を立てて検証することです。タマネギの構造を考えながら鱗片葉細胞の大きさと成長の関係について仮説を立てさせました。そして仮説を検証するために細胞の大きさを測定しデータを集めました。

生徒の様子 基本操作が習得できているので、短時間で効率よくデータを取ることができました。仮説については、考えた時点で理屈が通っていることを重視しました。生徒が悩みながら生み出す仮説は多種多様で興味深いものでした。発想の豊かさを感じました。

○第4回 タマネギ鱗片葉細胞の大きさの測定②

目標 検証実験の続きとデータ処理について理解する

概略 データを増やし、実験結果をまとめました。結果を説明するためにグラフの作成を課題としました。どんなグラフを作るかは主張したい内容によって変わりますので、生徒に任せました。

生徒の様子 ディスカッションするときに主張したい内容が伝わるようグラフの作成を工夫していました。仮説が間違っているにも実験失敗と考えず、仮説が違ったのか実験方法が違ったのかを考察する生徒や、検証結果から新たな疑問を示す生徒などがみられました。

○第5、6回 バッタの精巢観察（2コマ連続）

目標 バッタの精巢を観察し、減数分裂について理解を深める

概略 バッタの精巢が成熟する時期でしたので、2コマ連続でバッタの解剖と精巢の観察（減数分裂の観察）をしました。バッタの捕獲から取り組

ませたかったのですが、時間と天候の都合でできませんでした。解剖は麻酔したバッタの翅、後肢を切り取り、腹部を切って精巢を摘出するという手順でした。

生徒の様子 精巢だけでなく、精巢摘出後のバッタの腹部を観察して循環系や腹部神経節に興味を持つ生徒がいました。目が輝いていたのが印象的でした。生きているバッタを解剖することに抵抗を感じる生徒もいましたが、生物の学習では命をいただかなくてはならない場合もありますので、サポートしつつできる範囲で取り組みさせました。



○第7回 タマネギ鱗片葉の大きさについて、各自の結果報告とディスカッション

目標 実験結果をもとに、自分なりの考察を交えてディスカッションする

概略 第3～4回で行った全員分のレポートを配布し、お互いのデータを見比べながら結果についてディスカッションしました。

生徒の様子 自分のデータを発表したり、質問したりしてとてもいい雰囲気でした。タマネギの成長と細胞の大きさについても結論を出せました。私が思うように議論は進まなかったのですが、いい経験になったようです。

○第8、9回 手羽先の解剖と標本準備（2コマ連続）

目標 筋肉、骨、腱の関係について理解を深める

概略 手羽先を解剖しながら、曲げたり伸ばしたりひねったりすることで、複雑な動きを可能にする仕組みを観察しました。解剖と観察が終わったあとは、標本作製の準備をしました。タンパク質分解酵素や、水酸化ナトリウム、漂白剤などを使い、約一ヶ月かけて骨に付着する筋肉や腱、脂肪などを除去しました。

生徒の様子 手羽先には筋肉の束が10本以上、骨が9個もあります。メスや解剖バサミを使いながら器用に作業していました。から揚げで食べているだけではわからない発見がたくさんあったようです。

○第10回 手羽先標本の作製

目標 標本を作製し、骨格について理解を深める

概略 骨に付着している組織を丁寧に取り除きます。ほとんどの生徒が9個の骨をきれいに取り出しました。補習の時間内では、骨の洗浄と位置決めまでしかできませんでしたので、乾燥と接着は宿題にしました。

生徒の様子 関節など骨の

形状をじっくり観察していました。手羽先とヒトの前腕は同じ起源をもつ同器官なので、ヒトの前腕と比較している生徒や、骨の向きから左右どちらの手羽先なのかを考察している生徒もいました。



○第11回 毛細管の作成と、光合成色素の抽出・分離

目標 毛細管がつけられるようにする
光合成色素の分離について理解する

概略 TLC (薄層クロマトグラフィー) シートを使った光合成色素の分離を行いました。分離していく様子を観察するだけでなく、色素を滴下する毛細管の作成から始めました。試料はホウレンソウの葉を使用しました。演示実験ではTLCシートのほかにろ紙も使い、両者の比較も行いました。

生徒の様子 毛細管は、ガスバーナーでガラス管を熱して柔らかくなったところで引き延ばすという単純な作業ですが、ガラス細工を初めて経験する生徒は夢中に取り組んでいました。色素分離では、クロロフィルやカロテ

ノイドなどを確認することができました。

今回の補習内容が試験の得点に直結するわけではありませんが、さまざまな経験や科学的思考が役立つ時が来ると信じています。そして、周りの生徒に生物のおもしろさを伝えてもらえる私の仕事も報われると思います。最後に生徒の感想を抜粋してまとめとします。

・毎回の実験がとても興味深いものでした。一番衝撃を受けたのはバッタを解剖して精巢を観察したことでした。植物のスケッチも地味だったけれど好きでした。

・授業ではできないような実験やディスカッションができて、土曜補習が楽しかったです。

・生物の楽しさを知ることができました。今回の土曜補習は実習を中心とした授業で、とても内容の濃い講座でした。実習の中で、構造や成り立ちなどさまざまな視点から考察しました。自分の考えだけでなく違った考えもわかり、とてもよい授業になりました。

・解剖の時にメスやハサミをつかえたことは、将来獣医になりたいと思っている僕にはとてもいい経験になりました。

・タマネギの観察では仮説を立て、実験の結果をディスカッションすることで、考えて実験して検証することの楽しさが分かった。

・身近なものを対象とした実験も非常に多く、生命の素晴らしさを改めて感じる事ができました。

・実験したりディスカッションしたり、個々で考えて行う授業だったので自分で考える力がついたと思います。

写真を提供してくれた土屋勇満先生、アンケートを取ってくれた中嶋先生、一生懸命に取り組んでくれた生徒のみなさんに感謝します。ありがとうございました。

「世界に誇る上田紬」発表への取り組み

ECC（部）顧問 山口 裕 恵

はじめに

ECC（部）は英語コミュニケーションクラブの略である。学園創立当初から英語部はあったようだが、ECCとしての活動は約十八年前からになる。活動内容は多岐に渡り、過去には英語ディベートや弁論にも取り組んでいたが、近年は海外学生との交流が主である。毎年のECCの一大イベントは「西高祭」で、昨年度までは恒例でステージ発表を行っていた。今年度の展示発表への取り組みは、西高ECC史上初の試みであった。

ステージのECCから展示のECCへ

五月、部のミーティングで「ステージは恥ずかしいから、今年は展示がいい」という意見にまとまった。私が迷ったのは、先輩たちの築いてきたものを失うこと。開放的な自己表現と一つのステージを作り上げる達成感の共有創部当初、ステージ発表を希望する団体は少なく、その中でECCのダンス発表は輝いていた。それから、何度も入賞してきた。しかし現在は、三年生の「クラスダンス」発表が定着し、人数、レベル、盛り上がり、規模が違う。毎年、ステージ発表を応援しに来てくれるOGの先輩方には申し訳ないけれど、「うん、いいんじゃないかな。ECCはステージを卒業しよう。」と答えた。

展示企画内容決定

展示企画案の話し合いで真っ先に上がってきたテーマは、「デイズニー」。高校生はデイズニーランドが大好きだ。多分、手軽に非日常の世界に飛び込めて、安全が保障されているからだ。本来はその冒険心は、本物の異文化体験に向けられるべきものだろう。翌日、三年生の中心部員と話した。「ECCにしかできないことをしよう。英語を使って、海外の文化を日本に紹介す

るとか、日本の文化を海外に紹介するとか。」高校生の情報源は限られているから、大人がその選択肢を広げることが大切だ。私が一晩かけて考えたアイデアは二つあった。留学の関係でお世話になっている大森さんから教えていただいた『カンボジアの孤児支援企画』とALITのジョセフ先生の興味を持っている『地元の養蚕と紬』の関係。三年生に概要を話すと、すんなりその気になってくれた。やはり、作り物ではない文化、歴史に直接触れられる機会を子どもたちは求めていたのだと感じた。カンボジアと上田紬、どちらの企画にするかの決定は部員に任せた。情報を集めると興味が沸き、部員の中でも意見が割れ、割れたことで「自分達の企画」という意識が出てきた。その後、調べ学習の過程で、より身近な「上田紬」に一本化されることになった。

調べるのは楽しい まとめるのは難しい

― フィールドワーク編 ―

私たちは、地元の養蚕や上田紬について調べ、それを英語でまとめ発表するというスタイルにすると決めた。西高には海外から交流に来てくれるお客様が多いので、英語でまとめればいつか実際に海外の人に英語で説明する機会が訪れると思ったからだ。調べ学習については、本校の元校長、佐々木清司先生にお手伝いを依頼し、快諾していただいた。佐々木先生は、全部で五回ほどのフィールドワークも含めてボランティアでECCをご指導してくださいました。六月になり気温が上がって暑い中、上塩尻の元養蚕農家や桑畑を回って歩いた。桑の段々畑跡の石段が現在も綺麗に積み上げられ、それが山の中腹以上まで続くのを見て、日に二度、新鮮な桑の枝葉を担いで下ろしていたという養蚕農家の苦労を感じた。

藤本養蚕歴史館では、蚕種製造について佐藤館長のお話を聞き、貴重な資料を見せていただいた。棚には、江戸時代に取引で江戸に出張した商人の出張費の使途明細（領収書）まで丁寧に保存されていた。また、蚕種製造過程や方法が再現され、生徒たちは理解を深めた。特に、蚕の蛾は、「繭の層が厚く自力で出られない、逃げないように飛べない、必要ないから目が見えない、交尾をしても自分で離れられない、卵を産んだら病気検査機にかけられ命が

終わる」と人間に都合良く品種改良されているということに衝撃を受けた。「昔の人の生活を支えた存在だったから『お蚕様』と呼んだんだね。」としみじみと言っていた生徒がいた。

小岩井紬工房さんでは、手織りの着物に出会った。難しい柄だと一日で三十センチの長さしか織れず、気が遠くなるほどの手間がかかるそうだ。自分たちが普段身に着けている使い捨てのファストファッションとは対局で、長く大切に自分の一部として着るものであることも頷ける。

藤本つむぎ工房さんで、「伝統文化伝承は難しいけど、まずは若い人が身に付けることから」と言われ、西高祭では、自分達が上田紬の着物を実際に着てみて、その美しさを来場者の方に見ていただこうと決めた。

― 実験編 ―

小岩井紬工房さんは天然素材でつむぎ糸を染めていて、お話を聞いて自分たちもやってみたいという気持ちになった。実は、私たちは、それまでに信州大学繊維学部茅野先生のご厚意で、かなりの数の繭を譲り受けていた。自分たちが繭からつむいで染め紡ぎ糸を作る、というのが私たちのもう一つのプロジェクトになった。インターネットで調べ、繭から糸をとることにした。

この勉強をするまでは、生糸とつむぎ糸の違いさえ知らなかった。生糸はいわゆるシルクで、繭を煮て座繰り機等で糸を巻いていく。つむぎ糸は、繭を煮るところまでは同じだが、煮た繭を広げて乾燥させ角真綿をつくり、それをほぐしてから撚って作る。蚕種業の盛んな上田では、蛾の抜け出た穴の開いた繭がたくさん出たので、後者のつむぎ糸を使い、上田紬を作ってきたのだ。ECCでは、生糸とつむぎ糸と両方の糸を作ることになった。いざ、卓上コンロに鍋をかけて繭を煮てみると、部屋中繭のにおいが充滿した。換気しながら数時間かけて煮た後、繭を広げてみると、今度は中から蚕のミイラが出てきて生徒たちは大騒ぎ。においのことも死骸のことも本には書いてないから、やってみて初めてその大変さに気づいた。生糸は座繰り機で見よう見まねでとった。どんなに巻いても終わらないので、調べたら一つの繭からなんと約一キロメートルも取れるそうだ。「糸まきまき〜」の歌はこうして

作られたに違いないと笑った。何日もかけてとったつむぎ糸は、通販で買ったベニバナで染めた。染めるのも三十工程あって、パンフレットを見ながら格闘し、最後にはきれいなピンク色の糸ができた。その糸を使って、西高祭当日に手作りミサンガコーナーを設置することにした。

― 飼育編 ―

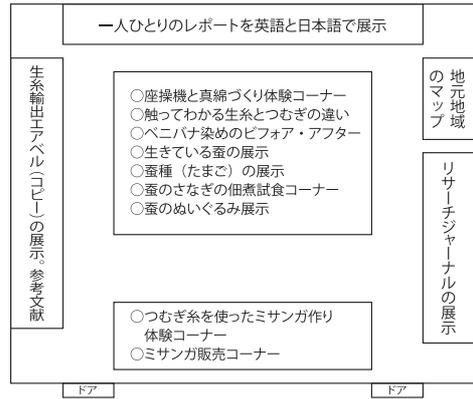
調べ学習の傍ら、ECCで蚕の飼育にも取り組んだ。信大繊維学部からいただいたゴマ粒より小さい五十個の卵を、資料を見て、いろんな人に聞きながら育てた。温度、湿度まで完璧に調整したはずが、卵から孵ったのはわずか三匹。貴重な三匹に、「蚕って毛虫みたいで気持ち悪い」と言っていた生徒達も、当番で桑の葉を持ってきて可愛かった。しかし、西高祭当日までには、三匹のうち一匹になってしまい、西高祭の展示が終わった翌日には、その一匹も死んでしまった。「西高祭までどうにか頑張ってくれたんだね。蚕さん、ありがとう。」と話した。生き物相手の難しさを知り、養蚕農家の方が、蚕が病気になるように特に神経を使っていたという話を思い出して納得した。

― まとめ編 ―

六月末から七月、西高祭に向けて、調べたものをまとめる段階に入ると、「調べるのは楽しいけど、まとめるのは大変」という言葉に尽きた。

楽しいからと、どんどん手を広げて取り組んだものは、一つひとつ興味深いが、全部を入れたらまとまらない。次回への課題だ。今回は、結局、一人ひとりが自分の好きなテーマで、パワーポイントを使いレポートを作成。タイトルのネーミングも工夫し、見る人に興味を持ってもらえるようみんなと一緒に考えた。全体の教室展示は、一年生が塩尻マップと手作りミサンガコーナー、二年生が糸つむぎ体験コーナー、三年生がリサーチジャーナルの担当になった。ジョセフ先生は、生糸輸出ラベルのコレクションで展示に花を添えてくれた。顧問が一番苦労したのは、一人一レポートの英訳の添削。各自、英語と日本語で作成してきたのだが、某翻訳ソフトを使った生徒が多く、その誤訳に頭が壊れそうになり、終わった時には心底ホッとした。

西高祭展示の見取り図



【西高祭での展示の様子。上田紬を着てご案内。】

西高祭展示 部活動部門 最優秀賞

西高祭の展示では、多くの年配の方が懐かしがりながら見て下さり、若い子達は、つむぎ糸を使ったミサンガコーナーを楽しんでくれた。行列ができるような派手さはなくても、じっくり楽しんでいただけると展示が出来て良かった。そして、苦労した甲斐があり、後夜祭では、展示の部 部活動部門の最優秀賞をいただいた。自分達の作ったものが、学校全体で評価されたことが嬉しく、「やって良かった！」の声が生徒達から聞かれた。ステージのECCから展示のECCになっても、これなら卒業生もきくと喜んでくれるだろうと話した。

西高祭のその後

西高祭の後も、一人一レポートと真綿作り、ミサンガ作りは数回の発表の場を得ることができた。アメリカコロラド州の学生との交流、上田地域産業展、姉妹校の学生との交流など、実際に海外の人達に上田紬や養蚕について伝える機会を得て、生徒達は、自分達の住む場所の歴史、文化を誇りに思う気持ちが強くなったようだ。西高に来たオーストラリア留学生は、「オーストラリアには、地域ごとの文化はありません。オーストラリア全体でも鉱物とアボリジニの文化ぐらいです。今回、上田紬についての発表を聞いて、蚕の作った糸が

着物になるのにどのぐらいの時間と労力が費やされたかを思い感動しました。」とのコメントをくれた。これぞまさに「世界に誇る上田紬」の発表だと思った。

地域の伝承文化に学ぶコンテスト 優秀賞受賞

夏休み明けは、せっかくの取り組みということで、三年生中心に、一学期の活動を小冊子にまとめ、高校生新聞社と國學院大学主催の「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストの学校活動部門（今年度新設）に応募した。その結果、全634点の応募から学校活動部門の優秀賞をいただくことができ、全国規模のコンテストで一番の賞を受賞したことに、部員は沸いた。十二月には代表者二名と顧問で授賞式に出席した。そこで、幸運なことに再度プレゼンテーションの機会をいただいたのだが、突然の英語での発表に会場に与えたインパクトは大きく、笑いが起こった。なんでも笑いに変わるT君のパフォーマンスを横目で見つつ、「地域伝承文化のプレゼンをこんなに楽しんでもらえて何より」と生徒達に感謝の気持ちだった。

華やかな授賞式で感じたことは、「学校活動賞」の意味。ECCの西高祭展示を機に、西高生の間で「西高祭展示でこういう企画もアリかな」と認知され、さらに、この「学校活動賞」受賞で、「この路線イケる。来年は私たちが！」となり、上田西高全体の新しい力となっていくてくれたら嬉しい。末尾になりますが、この発表でお世話になった多くの方々、顧問ともども大変勉強になりました。本当にありがとうございました。

番号	タイトル	英語のタイトル	名前
1	塩原の地形と蚕の育成 地形と桑の育成との違い	The relation between silkworms and mulberry trees.	畑山 瑛菜 Hatakeyama Reina
2	蚕でお金持ち	Silkworms made money	大久保 春菜 Okubo Haruna
3	スクープ川蚕の④実験!	Make babies or die!	上野 瑞穂 Ueno Mizuho
4	「青白ヨーロッパへ!」	「Seihakuj went to Europe!」	山極 優香 Yamagiwa Yuka
5	生糸と絹の違い	Difference Between Raw Silk and Pongee(Tsumugi).	手島 菜穂 Teshima Naho
6	塩原良いとこ一度はおいで!	Come and enjoy Shiojiri .Ueda	白井 成里奈 Shirai Serina
7	Ms.パーフェクト繭ちゃん	Ms. Perfect cocoon	野本 紗弥花 Nomoto Sayaka
8	結コーデ	Ueda Tsumugi in the past and now	宮澤 里佳 Miyazawa Rika
9	西高生まれのハーフジャパニーズくびれはいらない	SILKWORM RESEARCH WAS DOEN HERE AT UEDA NISHI HIGH SCHOOL! Good shape is important	中沢 綾乃 Nakazawa Ayano
10	プロテインリンク?? 蚕はなぜミキサーにかけられたのか	Protein Dink?? Why did people put moths in the blender?	金井 唯佳 Kanai Yuika
11	シルクロード	SILK ROAD	吉田 穂吉郎 Yoshida tokichiro

平成26年度 上田西高校進路合格実績一覧 (平成27年2月25日現在)

四年制大学(国公立)

大学名	学部	人数
信州大学	経済学部	1
高崎経済大学	経済学部	1
	合計	2

四年制大学(私立)

大学名	学部	人数
青山学院大学	経営学部	1
	文学部	1
亜細亜大学	経営学部	1
	経済学部	1
足利工業大学		1
大谷大学	文学部	1
神奈川大学	外国語学部	1
	経済学部	1
	法学部	1
	工学部	1
金沢工業大学	工学部	1
関西学院大学	商学部	1
神田外語大学	外国語学部	1
関東学院大学	経済学部	2
	看護学部	1
京都外国語大学		1
京都精華大学	マンガ学部	1
京都造形芸術大学	芸術学部	1
杏林大学	外国語学部	1
群馬医療福祉大学	社会福祉学部	2
群馬パース大学	保健科学部	2
工学院大学	先進工学部	1
國學院大學	文学部	2
	経済学部	1
国際医療福祉大学	保健医療学部	1
国土館大学	政経学部	1
	体育学部	1
駒澤大学	法学部	1
	経済学部	1
	仏教学部	2
駒澤女子大学	人文学部	1
埼玉工業大学	人間社会学部	1
相模女子大学	栄養科学部	2
佐久大学	看護学部	3
実践女子大学	生活科学部	1
	文学部	1
芝浦工業大学	工学部	1
淑徳大学	教育学部	1
松陰大学	看護学部	1
城西大学	現代政策学部	1
	薬学部	1
上武大学	ビジネス情報学部	1
白梅学園大学	子ども学部	1
成蹊大学	文学部	1
	理工学部	1
清泉女学院大学	人間社会学部	1
専修大学	経営学部	1
	経済学部	2
	ネットワーク情報学部	1
	文学部	1
	法学部	2
大正大学	文学部	1
大東文化大学	経営学部	1
	文学部	5
	法学部	2
	国際関係学部	2
	スポーツ健康科学部	2
高岡法科大学	法学部	1
高崎健康福祉大学	薬学部	1
高千穂大学	経営学部	1
拓殖大学	外国語学部	1
	政経学部	1
玉川大学	観光学部	1
	経営学部	1
	文学部	1
	農学部	1
多摩美術大学	美術学部	1
千葉工業大学	工学部	1
中京学院大学	看護学部	1
中京大学	文学部	1
帝京大学	経済学部	3
	文学部	1

大学名	学部	人数
帝京平成大学	薬学部	2
桐蔭横浜大学	法学部	1
東海学園大学	スポーツ健康学部	1
東海大学	工学部	1
	文学部	2
	法学部	1
東京農業大学	生物産業学部	1
東洋学園大学	現代経営学部	1
東洋大学	法学部	1
獨協大学	経済学部	2
長野大学	社会福祉学部	1
	企業情報学部	1
長野保健医療大学	リハビリテーション学部	1
名古屋女子大学	文学部	1
新潟医療福祉大学	医療技術学部	1
	健康スポーツ学部	1
新潟リハビリテーション大学		1
二松学舎大学	国際政治経済学部	2
	文学部	1
日本福祉大学	子ども発達学部	1
日本保健医療大学	保健医療学部	1
東日本国際大学	経営情報	1
福井工業大学	スポーツ健康科学	1
文化学園大学	服装学部	1
文教大学	経営学部	1
	国際学部	2
	人間科学部	2
法政大学	経済学部	1
	人間環境学部	1
北陸大学	薬学部	1
松本大学	総合経営学部	1
	人間健康学部	3
武蔵野大学	法学部	1
武蔵野美術大学	造形学部	1
明星大学	文学部	1
山梨学院大学	経営情報学部	2
	法学部	2
	現代ビジネス学部	1
立正大学	社会福祉	1
	文学部	2
	法学部	2
立命館大学	文学部	1
流通経済大学	スポーツ健康科学部	1
尚美学園大学	芸術情報学部	1
	合計	139

短期大学(公立)

大学名	学部	人数
長野県短期大学	生活科学科	1
	多文化コミュニケーション学科	4
	合計	5

短期大学(私立)

大学名	学部	人数
飯田女子短期大学	食物栄養学科	1
	保健看護学科	1
上田女子短期大学	幼児教育学科	2
埼玉女子短期大学	商学科	1
相模女子大学短期大学部	食物栄養学科	2
清泉女学院短期大学	国際コミュニケーション学科	5
	幼児教育学科	2
高山自動車短期大学	自動車工学科	1
松本大学松商短期大学部	経営情報学科	1
松本短期大学	介護福祉学科	1
	看護学科	1
明和学園短期大学	こども学専攻	1
	合計	19

専門学校

学校名	人数
ESMODJAPAN東京	1
アップルスポートカレッジ	1
上田情報ビジネス専門学校	6
エコール辻東京	1
エコール辻大阪	1
エプソン情報科学専門学校	2
太田医療技術専門学校	2
大原スポーツ・公務員専門学校長野校	2
大原スポーツ・公務員専門学校松本校	4
カレッジオブキャリア	1
群馬自動車大学校	3
国際・ラベル・ホテル・ブライダル専門学校	1
国際文化理容美容専門学校渋谷校	1
小諸看護専門学校	1
佐久総合病院看護専門学校	2
資生堂美容技術専門学校	1
信州医療福祉専門学校	4
高崎歯科衛生専門学校	1
高山美容専門学校	1
東京医療秘書福祉専門学校	1
東京スクールオブミュージック	1
東京メディカルスポーツ専門学校	2
長野医療衛生専門学校	3
長野外語カレッジ専門学校	1
長野平青学園	1
長野調理製菓専門学校	1
長野理容美容専門学校	1
新潟医療技術専門学校	1
新潟医療福祉カレッジ	1
日本ウエネス専門学校	1
日本外国語専門学校	1
日本工学院専門学校	2
日本デザイナー学院	1
ワタナベエンターテイメントスクールカレッジ	1
日本工学院八王子専門学校	1
上田看護専門学校	1
上田福祉敬愛学院	1
エコール辻大阪	1
大阪教育福祉専門学校	1
大原簿記情報ビジネス医療専門学校	1
東放学園映画専門学校	1
合計	62

就職

企業名	人数
池の平リゾート	1
株式会社 みつみ	1
ダイカンサービス株式会社	1
フォルビート	1
株式会社コシナ	1
株式会社竹内製作所	1
日信工業株式会社	1
宮後工業株式会社	2
JAちくま	1
ヴァールマタン	1
大沢椅子製作所	1
株式会社 シナノケンシ	1
株式会社 鈴木	1
株式会社 アート金属	1
小林脳神経外科・神経内科病院	1
シチズン時計マニファクチャリング株式会社	1
東京特殊電線株式会社	1
合計	18